

2023年度
八戸学院大学
地域経営学部 地域経営学科
総合型選抜 テーマ1

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

次の文章を読んで、以下の2つの問いについて答えなさい。

青森県をはじめ、北海道、岩手県及び秋田県は、世界自然遺産「白神山地」や「知床」など、美しい自然が今なお色濃く残る、緑豊かなところだ。

北海道・北東北の縄文遺跡群は、この豊かな自然の恵みを受けながら1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した縄文時代の人々の生活と精神文化を今に伝える貴重な文化遺産だ。

その価値が認められ、2021（令和3）年7月27日、青森県内に所在する8つの縄文遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は世界文化遺産に登録された。

（青森県庁ホームページより）

問1. 上記の通り青森県には観光資源となる地域資源が多くありますが、地域資源を活かして地域経済を活性化させるための方法を300字から400字以内で答えなさい。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉だ。（総務省ホームページより）

問2. 「関係人口」は観光資源を活かし、地域活性化を図るためのキーポイントであると言われていますが、「関係人口」を築いていくためにどのような方法が考えられるか300字から400字以内で答えなさい。

参考文献

「青森県の縄文遺跡群」、青森県

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-sjcc/aomori_jomon.html

（2022年6月2日アクセス）

「関係人口ポータルサイト」総務省

<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>

（2022年6月2日アクセス）